

目 次

1.開催趣旨.....	1
2.参加者選定の方法.....	1
3.プログラム.....	2
4.当日の市長あいさつ.....	3
5.検討の進め方.....	4
6.検討結果.....	6
(1) 人の健康	
①心身の健康について.....	7
②高齢者、障がい者などへの支援について.....	15
③子育て支援について.....	23
④学校教育について.....	31
[講師講評].....	39
(2) まちの健康	
⑤安心安全を感じる生活について.....	41
⑥快適で利便性の高い街づくりについて.....	49
⑦環境への配慮やまちの緑化について.....	57
[講師講評].....	69
(3) 社会の健康	
⑧豊かな心を育む生涯学習、文化活動について.....	71
⑨まちの活力や賑わいについて.....	79
⑩大和の魅力のPRについて.....	87
[講師講評].....	99
7.講演	
(1) 講師プロフィール.....	101
(2) 講演(抜粋).....	102
8.市民討議会参加者数等.....	118
9.市民討議会アンケート.....	119

1.開催趣旨

大和市では「健康創造都市 やまと」を将来都市像とした「第8次総合計画」に基づいて様々な施策を展開しています。総合計画は、市政運営の最も基本となる計画で、大和市のすべての行政施策に関わる基本方針を示すものです。

前期の基本計画が平成25年度に終了するため、現在、平成26年度から30年度までの5カ年に係る後期基本計画の策定に向け準備を進めています。

計画の策定に際し、これからの大和市の課題、解決策などについて、市民の皆さんのご意見をいただくために、平成24年10月13日（土）および平成24年10月20日（土）の2日間にわたって『やまと市民討議会』を開催しました。

2.参加者選定の方法

無作為に抽出した18歳以上の市民3,000人に参加案内を送付し、その中より応募のあった市民の方、27人に参加していただきました。

また、無作為抽出による市民の方とは別に、市内の高等学校4校（大和西、大和東、聖セシリア女子、柏木学園）から13人の生徒に参加していただきました。

さらには、市民の方と接し、行政のプロとしての能力アップのため、本市の若手職員16人が参加しました。

☆会場の様子☆



3.プログラム

1日目

日時：10月13日（土）午前10時00分から午後4時30分まで

場所：市地域医療センター2階講習室

時間	内容
9:30～10:00	受付
10:00～10:05	・開会、主催者あいさつ
10:05～10:10	・「やまと市民討議会」開催の趣旨説明
10:10～11:00	・討議の進め方、市の概要、総合計画について
11:00～12:00	・講演：市民社会を確立するための制度設計の考え方 ・講師：国土館大学 平石正美 教授
12:00～13:00	(昼食)
13:00～13:05	・市長あいさつ
13:05～13:40	■討議の準備（人の健康） ・テーマに関する情報提供 ・役割分担の決定
13:40～15:30	■討議
15:30～15:35	(休憩)
15:35～16:15	■討議内容の発表（各班5分）
16:15～16:25	・平石教授による講評
16:25～16:30	・事務連絡、解散

2日目

日時：10月20日（土）午前9時00分から午後4時45分まで

場所：勤労福祉会館3階ホール

時間	内容
8:30～9:00	受付
9:00～9:05	・あいさつ、日程の確認
9:05～9:40	■討議の準備（まちの健康） ・テーマに関する情報提供 ・役割分担の決定
9:40～11:20	■討議
11:20～11:25	(休憩)
11:25～12:10	■討議内容の発表（各班5分）
12:10～12:20	・平石教授による講評
12:20～13:20	(昼食)
13:20～13:55	■討議の準備（社会の健康） ・テーマに関する情報提供 ・役割分担の決定
13:55～15:35	■討議
15:35～15:40	(休憩)
15:40～16:25	■討議内容の発表（各班5分）
16:25～16:35	・平石教授による講評
16:35～16:40	・主催者あいさつ
16:40～16:45	・事務連絡、閉会

4. 当日の市長あいさつ

..... **大和市長 大木 哲（おおき さとる）**

本日はお忙しい中、「やまと市民討議会」にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

現在、本市では「健康都市」の概念を中心に様々な施策を体系的に位置づけ、進めています。健康は、幸せに直結し、誰もが望む最も基本的な願いです。すべての市民に共通するこの願いを将来都市像として明確に位置づけ、平成 21 年度からスタートした総合計画による市政運営も今年で 4 年目となります。来年度の平成 25 年度には、前期の基本計画が終了します。これまでの取り組みによって着実に出来た部分もあるとは思いますが、急激な高齢化など様々な問題があるのが現実であり、まだまだ成果としては不十分です。

今後は今までの基本計画を引き継ぎつつ、新たに取り組む施策など、これからの市政の方向を後期基本計画に位置づけ、更なる成果を求めていきたいと考えています。

これまで、市政について意見を述べる方々は、一部の限られた市民でした。そこで、率直な意見、生の声を少しでも多く伺いたいと考え、市民討議会を行う運びとなりました。

今回の参加者選定の方法は、いわゆるサイレント・マジョリティ(英: silent majority: 「物言わぬ多数派」、「静かな多数派」)と言われる方々の声を多く聴取するという、一つの大きな目的を果たすための有効な手段です。

無作為に抽出した約 3,000 人の市民にご案内を送付し、その中から参加をしようと手を挙げてくださった方々に本日、お集まりいただきました。つまり、皆様がサイレント・マジョリティであるとも言えます。地域や日常生活で改善点を思いついても、通常はそれを発信する機会や場所がないと感じている方が多いのではないのでしょうか。

今回は、市政の基本となる計画の見直しであり、家で言えば土台作りの作業と言えます。市としては、皆様方の意見を大切に、活かしていきたいと考えています。

本市において初めての試みとなる市民討議会は、市民参加の新たなスタイルであり、今後の市政推進の原動力になると考えております。また、参加いただいた皆様にとっても市政について主体的に考えていただく良い機会になると、大いに期待しています。

市民討議会の開催は、初めてのことであり、最初から完璧には行かないこともあります。今後、自治体の中で様々なことを決めていく上で、重要な取り組みになっていくと考えています。皆様のご意見をいただき、試行錯誤しながら継続的に行っていきたくと思っています。

そうした意味では、ここにお集まりの皆様方が始めの一歩となります。皆様の後ろに道ができ、皆様方が築いていく。どうか、この体験を楽しんでいただき、自由な発想でご意見を交わっていただきたいと思います。これからもよろしく願いいたします。



5. 検討の進め方

市民討議会は、**これからの大和市における課題や解決策**などについて、**参加者が主体**となって話し合う場です。

誰もが自由な発想で意見を出し合えるように、少人数の班を編成し、その中で議論しながら、班ごとに意見をまとめていただきます。

参加にあたっては、最低限のルールがあります。

■ルール

- ✓自由に発想し、他人の意見を否定しない
- ✓お互いの自主性を尊重する
- ✓全員が発言する
- ✓考えが変わった場合、意見を変えてもよい
- ✓必ず結論をだす

討議の前に、次のような準備をします。

■討議の準備（約30分）

- ◇テーマに関する情報提供（市の職員から）
- ◇役割分担を決める（進行、書記、発表者など）

討議は、※KJ法という手法を使い、次のように進めていきます。

■討議の流れ（約110分）



※KJ法（Step 1～4、Step 5～7）は、各自の頭の中にあるぼんやりとした意見・アイデアをグループ化し、論理的に整理する手法です。

討議のあと、班ごとに発表をします。

■討議内容の発表（各5分）

- ◇班ごとに、出された意見やまとめた課題、解決策などを発表します。

＜作業シート（イメージ図）＞

検討テーマ：	
●グループ	メンバー名
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 【強み】 【弱み】 </div>	
【課題整理用作業スペース】	
大和市が抱える課題	課題への対応方針・解決策
①	
②	
③	

